

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

安全なデジタル社会をつくり、日本を前進させ続ける。

時価総額
200億円

② 中長期の経営戦略

1. デジタルリスク事業

ソーシャルリスク領域に加え、内部脅威検知サービスを中心とした
インターナルリスク領域の売上高伸長。AI活用と業務プロセス改革
で生産性向上を実現。

3. DX推進事業

行政サービスのデジタル化支援を中心に自治体DXサービス拡大。S
ESとラボ型開発のハイブリッドで企業向けDX支援。生成AI領域も推
進。

2. AIセキュリティ事業

警備DXで新時代の安全保障を実現。AIK orderで構築した警備会社ネ
ットワークへのDXプロダクト・採用ソリューション展開でトップラ
イン伸長。

4. スマートシティ事業

プロパティ・マネジメント業務のデジタル化から着手。不動産売買
立ち上げでプロパティ・マネジメント領域の収益性改善を実現。

③ 対処すべき課題

① グループ管理体制強化

- ・グループ各社の経営資源を一元管理し業績モニタリング体制を強化
- ・グループ各社のシナジー最大化を推進

② AIセキュリティ事業収益化

- ・AIK orderの展開促進で売上高積み上げ
- ・採用ソリューションへの注力で赤字脱却を目指す

③ スマートシティ事業の収益確保

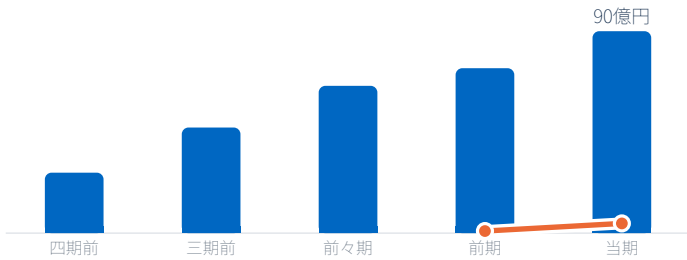
- ・不動産売買ビジネス推進で収益拡大
- ・売買を通じた管理物件数の獲得

面接で使えるポイント

- ・2026年～2028年の3ヵ年経営計画で営業利益を最重要指標として経営管理を実施
- ・デジタル化で生じる新たなリスク解決と社会へのデジタル化実装支援に同時並行で対応
- ・警備DXで新時代の安全保障をつくるというミッションで警備業界のデジタル化を主導

証券コード 3967

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
90億円営業利益率
4.8%財務健康度
11点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 39.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
602万円

情報・通信業内 407位/592社

平均年齢
35.8歳

情報・通信業内 422位/593社

平均勤続
4.3年

情報・通信業内 421位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 生成AI時代のレピュテーション対策、自社の評判調査サービスを

